

星屑

No.317
Aug. '01

金星



2001.02.11

金星



2001.03.21

火星



2001.06.17

火星



2001.06.17

熊本県民天文台

デジカメで星空

熊本県民天文台

7月7日 **七夕と朗読の夕べ**

熊本県民天文台で 19時30分から 開催され、30名が参加

朗読ボランティアの会 「ハイジの会」の朗読 と

県民天文台の「電子紙芝居」が 競演 (!) しました

七夕前夜の7月6日深夜、天文台メーリングリストを通じて七夕イベントに関する重大ニュースが配信されました。

熊本市内の朗読グループ「ハイジの会」との「七夕と朗読の夕べ」についてです。

お天気次第で来台者数が激変する「七夕」うかつに告知できない悩みがあるんですが、今回はどうやら雨が曇り、このままでは「来場者ゼロかも知れない」と、あわててお客さん集めに奔走することに。

急ごしらえの案内チラシを作成、「七夕」当日の土曜日のお昼前、城南町の図書館＝「くまむた文庫」、火の君文化センターの職員、豊田小学校の先生や職員の方、歴史民俗資料館、町内のボランティアグループなどに配布してまわり、来場を呼びかけました。

夏休みに開催される「城南町子供フェスティバル」へ向けて取組中の地元城南町のボランティアグループの方々に参加していただき、一緒にいろんなやり方を考えていただければと思ったからです。

-----チラシの本文は次の通り-----

さて、内容ですが、先日の朝日新聞でも大きく紹介された「ハイジの会」という朗読ボランティアの会があります。

熊本市立飽田中学校の司書の先生を中心とした会で、パワーポイントで紙芝居風に画像を出しながら、音楽と朗読で物語を構成していくという、昔どこかで見たような取り組みです。

そうです、九州スターフェスタ「星の降る夜 in 清和」でやっていた、矢部絹子さんの生語りに似ているのです。それもそのはず、矢部さんが指導されています。

そんなこんなで、今日の七夕は、天文台で読み聞かせの会をしようかという話になりました。

県民天文台の電子紙芝居との競演と言うことで、どうなるのか楽しみです。

大雨で橋が流れない限り開催しますので、皆さんの参加をお願いします。



18時15分頃からミーティングルームで会場の準備を始め、18時半過ぎに「ハイジの会」のメンバーが到着、設営とリハーサルを行って、開演を待ちます。19時半、日が沈んだばかりで外はまだ明るい。でも、ぼちぼち参加者が集まってきて、少し遅れて開演となりました。

「七夕と朗読の夕べ」は、ちびっ子の参加者にもこれから始まる「楽しいお話し」の雰囲気伝える導入部ではじまり、伝統的な七夕の絵本を使ったお話し、動物の絵を使った「歌うお話し」、実体投影機を使って大画面で絵本を見せながらの「朗読」、ブラックライトでパネルに貼った絵を浮かび上がらせながらのフォークソングなどなど、工夫されたたくさんの出し物で退屈させません。次は何だろう?と期待しているうちに、あっという間に時がたち「ハイジの会」の講演が終わったように感じました。

掲載している写真で、楽しかった会場の雰囲気を感じていただけるでしょうか?



次は、私の「電子紙芝居」の出番です。七夕ですから、出し物は羽衣伝説と七夕伝説が一緒になった、例の「喜界島のアメリカー」なんですが、今夜のはリメイク版、最新バージョンの初お披露目なんです。今までとはどこが違うかというと、効果音やBGMをつけ、場面の動きをいろいろ工夫して、小さな子供でも退屈せずに見られるようにと改造したものなんです。

□うるさい(?)天文台のメンバーから

も「評価の声」が上がっていましたから、
どうやら「合格点」がもらえたようです。



「七夕と朗読の会」が無事終了し、お客さんが観測室へ移動したあと、ミーティングルームでは「ハイジの会」のメンバーと交流会が催されましたが、おいしい飲み物に魅了され、撮影するのを忘れてしまいました。代わりに交流会の最後に撮った記念写真をお見せしましょう。



交流会の中では「電子紙芝居」についていくつかの質問が出てきました。

ひとつは、朗読の会を行うときの背景画面を作れないか?という質問でした。これは県民天文台への制作依頼かも知れませんが、もう一つは、お母さんと一緒に朗読の読み手として参加した女の子から、どうやって電子紙芝居の画面を作っているのか?というもので、これには、実際

にパソコンを使って「制作講習」をその場で行って説明しました。

パワーポイントで制作講座

パワーポイントの作図機能を使い、楕円とフリーハンドの曲線を使って人の顔を描いてみました。3分か5分もあれば顔ができあがり、鼻の位置に置いた細長い楕円をちょっと傾げるだけで、顔の表情が変わります。「エーツ、これだけでできるんですか?」と、女の子は制作意欲をかき立てられた様子。そこで、できあがった「顔」をひとまとまりの「グループ」にして、どこへでも配置できるようにし、アニメーション機能を使って、画面の外からゆっくり登場してもらいました。

「帰ったら自宅のパソコンで早速試してみます」と言っていましたから、新しい「電子紙芝居作家」が誕生するのも間近だと思います。

9月9日に、熊本市内で「ハイジの会」の秋の上演会があるそうですが、「ハイジの会」自作の電子紙芝居が背景画面を飾ってくれることを期待しましょう。

また、今回の「七夕と朗読の夕べ」に、城南町のまちづくりに取り組む「ふるさとネット」の会員さん方が子供連れでかけつけて下さいました。最初に書いたように、当日のチラシ配りに反応してくださったわけです。天文台での普及活動と、城南町での「星空の見えるまちづくり」が少しずつ広がりとなりを押し、多くの協力を得て、一段と進むことが期待できそうです。今回は、お天気にふりまわされ十分な準備ができませんでしたが、今後の広がりを予感させる、楽しいイベントとなりました。

6月23日

城南町の子育てグループ

ミッキーサークル 30数名

電子紙芝居で、春・七夕・夏の星空を 一気に楽しむ!

幸運にも晴れ間、火星が見え、「デジカメで星空」のお土産に 歓声!

今年度のイベント第1弾

5月の天文台総会で紹介していたように、今年度は城南町内の小学校や団体への働きかけを行い、観望会を開催しようと企画しています。その第一段が予定通り6月23日に開催されました。

この日天文台を訪れたのは、城南町の小さな子供を持つ親たちで組織している、ある子育てグループ＝「ミッキーサークル」です。昨年の夏休み、「城南町子供フェスティバル」で「電子紙芝居」を上演したのがきっかけで興味を持っていただき、天文台とのジョイントイベントが実現しました。

当夜は、昼までの雨、夕方は低くたれ込めた雲というあいにくのお天気でしたが、小学校低学年までの子供達を持つ十数家族が、19時30分に天文台に集合しました。梅雨まっただ中の企画でしたから、お天気の悪いのはあらかじめ覚悟していて、「春の星空」はじめ新作・リメイク版など数本の電子紙芝居を用意していました。

結構話題の多い日でした

前々日の21日は「夏至」で、昼間の時間が一番長く、太陽がもっとも頭の上近

くを通る日、しかも「南アフリカ日食」。前日の22日は火星が中接近（今回の最近距離の日）。日没が遅く、いつまでも夜空が暗くならないので、小さな子供達向けの星見イベントには向いていない時期ですが、電子紙芝居がその隙間をうまく埋めてくれました。暗くなるまでの間、子供達と一緒に「親たちを巻き込んで」星のお話しを楽しんでもらおうという企画です。

電子紙芝居の品定めと火星

「喜界島のアムリガー」はちびっ子にも大受けで定番になった様です。でも、春や夏の星座解説番組では、工夫して作ったつもりなのですが、まじめな解説部分が多いせいか子供達のノリはいまいち。もう少しだけ表現が必要なようです。

今回の体験を生かして、電子紙芝居の制作方針を少し修正することにしました。

お土産に配った「デジカメで星空」作品集（5枚）のうち、人気のあった1枚を「写真に焼いて」添付します。天文台で最近見えている（いた）惑星の姿をまとめました。中尾さん影山さんの作品も利用させていただきました。

幸い、晴れ間が広がり、実物の火星も見えて子供達は大満足だったようです。

ボスニア・ヘルツェゴビナ訪問記（3）～内戦、そして戦後…～

中尾 達也

ボスニアにはセルビア正教徒のセルビア人、カトリック教徒のクロアチア人、イスラム教徒のムスリム人という3つの民族がいて、それらの民族による争いがボスニア内戦であった。私たちを迎えてくれたホストファミリーの人々はイスラム教徒であったが、髪をベールで隠している女の人もいなかったし、お酒を飲む人たちもいた。やはり世代によって差があるそうなのだが、日本人の仏教徒の中にも、めったにお寺に行かない人がいたりするのと同じような感じである。

ボスニアに到着した翌日、訪問したある小学校で、ホストファミリーの人と一緒にボスニア内戦を取り上げたNHKスペシャルのビデオを見た。実際に内戦を経験した人たちと一緒に見るのはとてもつらかった。前の方に座っていたので、他の人の表情は分からなかったが、目の前に座っていた高校生の女の子は、ビデオの中でクロアチア人勢力の指導者だった人がインタビューに答えているのを見て、「まったく理解できない」とでも言うように、とても厳しい表情で首を左右に振っていた。誰かが泣いているのも聞こえたが、後ろを振り返ることはできなかった。後で聞いたところによると、泣いていたのはあるホストファミリーのママで、彼女はビデオの途中で部屋から出て行ってしまったそうだ。内戦終結から5年。街は復興しつつあり、破壊された建物の跡に生えた草は年月を感じさせる。しかしボスニアの人々にとって、内戦はまだ「過去」ではないのだ。



「命のトンネル」にて

それを示すかのように、ホストファミリーとの何気ない会話の中でも「戦争」という言葉がよく出てきた。ホストのエミールのママは小学校で生物の先生をしているのだが、彼女が作った植物採集の標本を見せてもらっていたときには、エミールがある草を指差して「戦争のとき、この草を採ってきて料理して食べてたんだよ」と教えてくれた。また、内戦中に密かに建設され、敵に包囲されていたサラエボに物資を運ぶ道となった「命のトンネル」とも呼ばれるトンネルを訪れた話をしたときには、英語を話さないママが、リュックサックを背負うジェスチャーをして、頭をかがめながら「私もこんな風にして、あのトンネルを通ったのよ」と教えてくれた。

あるとき、ボスニア南部の街、モスタルを訪れた。モスタルは戦闘が一番激しかったところのひとつで、スタリ橋という16世紀に建設された美しい橋があったことで有名な街だ。しかし、世界遺産にも登録が予定されていたこの橋は内戦で破壊されてしまい、今は木の橋が仮に掛けられている。内戦の前までは、スタリ橋の上からネレトヴァ川に飛び込む大会が行われていた。飛び込んで亡くなる選手もいたほど危険なのだが、飛び込みの選手になれるということは大変な誇りであり、モスタルの男の子はみなこの選手になりたがったそうである。現在、スタリ橋の近くには破壊された石の破片が集められている。当初の予定では2000年に復元されるということであったようだが、いまだ復元はされていない。「いつごろ復元されそう？」と尋ねてみると、「あと2～3年かな」と言う人もいれば、「2010年くらいじゃないかな」と言う人もいて、ボスニアの人々にもよく分からないようであった。しかし「スタリ橋が復元されたら、またボスニアに来るね！」と言ってボスニアを離れた私には2010年までなんて待てない。早くスタリ橋を渡れる日が来ますように！

また、クロアチア人とムスリム人の街であったモスタルは内戦の後、東側にムスリム人、西側にクロアチア人と民族の住み分けがなされるようになったそう。現在ではボスニアの多くの地域でこのような民族の住み分けがなされていて、自分の故郷が今では違う民族の街になってしまったために、そこにはもう戻れないという人々も多いということだった。モスタルである人々の集団とすれ違ったとき、あるホストのママが「セルビア人よ」とつぶやいたそうである。このように内戦が終わっても、民族間のしこりは残っているのだ。しかし、私たちが日本に帰る前日、さよならパーティーが開かれたのはセルビア人が経営するレストランだったし、帰国してから見たNHKの番組の中で、民族共生に取り組むボスニアの人々の姿があったことも記しておきたい。

「サラエボはヨーロッパの中で一番美しくない街だよ」と言うエミール。しかし、続けて彼はこう言った。「でも、僕たちはこの街を良くしていこうとしてるんだよ」と。ボスニアは確実に復興に向かっている。



モスタルのスタリ橋跡

星の停車場 (8) へびつかい座

土山由紀子

手にしたへびと共に夏の南天を埋め尽くすへびつかい座。ギリシア神話では、アポロンと、お喋りカラスの嘘でアポロンに殺されてしまったコロニスの子、アスクレピオスの姿です。

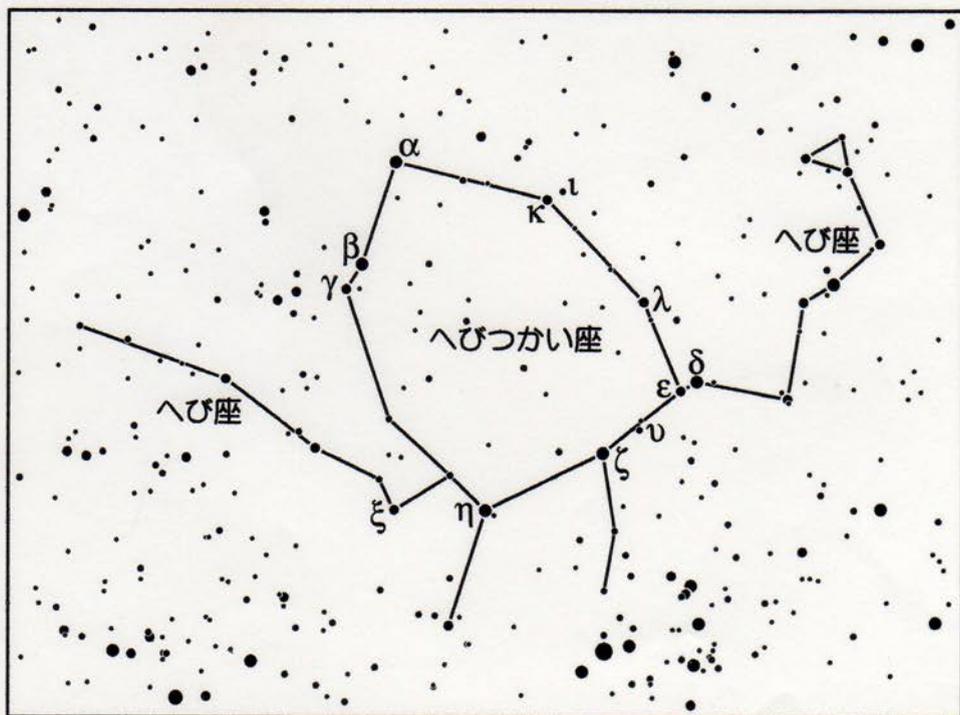
アスクレピオスは、いて座になったケンタウルス族の賢者ケイロンに育てられて医者になりますが、あまりの優秀さに死者までも甦らせてしまいます。慌てた冥府の王プルトーンはゼウスに訴え、ゼウスもやむなくアスクレピオスに雷撃を下し、彼は星座となりました。何度も脱皮して成長する蛇は、古来から不思議な再生力を持つ医術のシンボルとされ、星座でも常にアスクレピオスと共にいるのだと言います。

そのあまりに広大な面積のため探しにくい星座と思われがちですが、へびつかい座は決して探し出せないほど暗い星座ではなく、2等星から4等星の星々には固有名も知られています。

まず、2.1等の α 星。ラス・アルハゲという名があることは、よく知られていますね。ラサルハグエ、ラサラグエ、アルハグエ、ラス・アルハガスなど様々な表記がありますが、すべて“蛇を持つ者の頭”という意味のアラビア語、ラス・アル・ハワーが語源。星名によくある、星座上の位置を示した名前です。

β 星 (2.9等) は、ケバルライ、ケルブ・アルライ、シエレブ、ケレブなどと呼ばれますが、全て“羊飼いの犬”を意味するアラビア語カルブ・アル・ライが語源です。アラビア語で“犬”と“心臓”の綴りが似ているため、“羊飼いの心臓”と説明している本もありますが、後述する“天の牧場”で羊の番をした羊飼いの犬と考えれば自然です。

さて、その“天の牧場”のお話ですが、古代アラビアでは、こと座・ヘルクレス座・へびつかい座・へび座のあたりを、広い天の牧草地としていました。牧場には羊飼いと羊飼いを助ける犬がいて、羊達のお守りをしています。羊飼いは、 α 星ラスアルハゲ。犬は、



β星ケバルライとする説と、ヘルクレス座αである説があるようです。

牧場は二つの柵で仕切られており、北側にある柵は、ナサク・アル・シャーミヤー（北の境界線）といい、これを構成する星々は、こと座γ(3.2等)・β(3.8)－ヘルクレス座ν(4.4)・ξ(3.7)・μ(3.4)・λ(4.4)・δ(3.1)・β(2.8)・γ(3.8)・κ(5.0)－へびつかい座γ(3.9)・β(3.7)。また、南側にある柵は、ナサク・アル・ヤマニー（南の境界線）といい、へびつかい座ξ(3.5)・η(2.4)・ζ(2.6)・ν(4.6)・ε(3.2)・δ(2.7)－へび座μ(3.5)・ε(3.7)・α(2.7)・δ(3.8)を結んだ曲線。これら二本の柵に囲まれた星域には、へびつかい座ι・κやヘルクレス座のこん棒あたりの星で象る羊がいます。

広い広い牧場ですね。空が大きく開けたところで、牧場を駆け回る羊達を想像してみたら楽しいかも知れません。

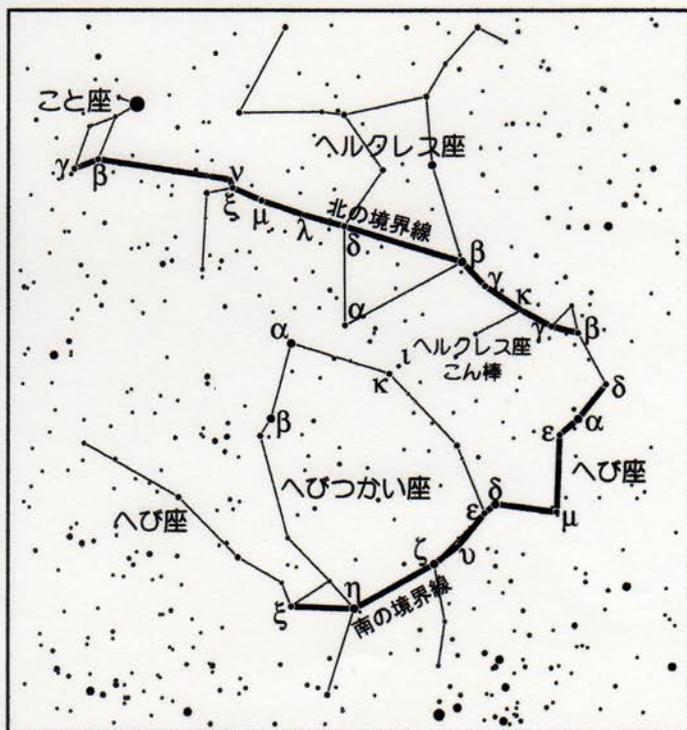
γ星(3.7等)はムリフェンという名で呼ばれていますが、この名の由来は不明とされます。おおいぬ座γ星にも同じ名がついており、こちらには“犬の頭”というアラビア語のアル・ムリフェインが語源という説明がなされており、β星を“羊飼いの犬”とするなら、隣のγ星がその頭であっても不思議ではないかもしれませんね。

δ星イエッド・プリオルは“前の手”という意味で、“手”を意味するアラビア語イアドと、“前の方”を意味するラテン語プリオルの結合語。アスクレピオスの左手に位置しており、従来イエッド(手)という名で呼ばれていた星に対し、後世になってプリオルという指示語をつけてできた名前です。このとき、それ以前は名前を持たなかった隣のε星にイエッド・ポステリオル(後の手)という名がつけられたのでしょう。

ε星はユーフラテス地方で“死の男”という名で呼ばれており、現代の占星学でも「へびつかいの手は不吉な星」とする名残が残っています。

η星サビクは“第二の勝利者”を意味するアラビア語、アル・ザビク・アト・ターニが語源で、ζ星を“第一の勝利者”アル・サビク・アル・アワールと呼んだのに対してつけられた名前と言います。勝利者とは、へびつかい座が両足で巨大なさそり座を踏みつけているように見えることが由来となっており、ζとηは、各々アスクレピオスの左脚と右脚のひざに位置しています。

λ星(3.8等)マルフィクは、へびつかいの左手のひじに当たることから、“ひじ”を意味するアラビア語アル・マルフィクが語源になってつけた名前です。お隣のヘルクレス座には、マルファクというよく似た名前がついた星があります(κ星)が、この星もヘルクレスのひじに位置し、アラビア語のアル・マルフィクが語源。このように、星座上の位置を表すアラビア語が語源になった星名には、他の星座に語源を同じくする類似の名前が見られることがあります。



6月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率10日/14日=% 一般来台者数82名 会員来台54名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
2日(土)	くもり	8名	中島、松本、 徳尾、中尾 (の)	月、雲ばかりでした…。(中尾の) 熊大天文部6名
8日(金)	くもり	0名	長谷、立川	夕方の晴れはうその様に天文台に到着 するや曇り。最近小林J来台せず。どう したのでしょうか?(立川)
9日(土)	くもり	0名		トークアバウト 艶島、中島、小林J、小林M、長谷、土山、 内藤、有馬、松本、徳尾、平川、中尾の 6/23親子20組、6/24草刈り10:00-
10日(日)	くもり	0名	小林M	星くずの宛先シールを持ってきました。 発送の準備をしていたら白鳥さん 来台。封筒ののり付けなどを手伝って いただきました。感謝!! 星くずは持って帰って発送します。(小 林M)白鳥さん
15日(金)	くもり	0名	西嶋、小林J	火星だけが雲の切れ間に輝いていまし た。う…うつくしい!(西嶋) 松本さん、山田先生
16日(土)	曇り	9名	中島、中尾、 徳尾	アンタレス、火星、M57(徳尾) 林、常川、井尻(熊大天文部)
17日(日)		0名	艶島、小林M 高田	火星のデジカメ撮影。(高田) 山田、中尾T、中尾のびた、徳尾
23日(土)	雨のち 晴れ	城南町 のミッ キーサ ークル の親子 30数 名+一 般のお 客さん 17 名、計 約50 名	中島、松本 艶島	電子紙芝居「春の星座」「南の島のアム リガー」「夏の星空」火星、リング星雲、 アルビレオ、アレイ星雲。銀河系につい て説明(電子紙芝居)。(艶島) デジカメで撮影、火星。(きょうが再接 近だった)
24日(日) (昼の部)	晴れ			艶島、内藤、土山、松本、のびた、中尾 (tommy) 昼AM10:00~PM2:00まで掃除および草 刈りおよび樹木の伐採 ひさしぶり良い天気でした。蒸し暑さ

				はすさまじいものでした。中島氏難病の為発熱（苦しそうでした）中尾さん差し入れありがとうございました。 土山由紀子さん××歳の誕生日おめでとうございます。（松本）
24日（日）	晴	12名	艶島、松本	きのう今日と変わりやすい天気です。火星を見ていると急に雨、あわててしめるとまた晴れて来台者こられてあわてて開けるといふなんかあわただしい日でした。（松本） 月、火星、星座の解説（電子紙芝居）＜春の星座および夏の星座＞ 飽田中から見学にこれれました。
25日（土）	晴れ	3名	中尾の、徳尾	リニア彗星の観望。あれい状星雲(M27)、M45、火星、金星、M31 梅雨の合間をみて晴れていたのを楽しみました。



七夕の夜、朗読ボランティア「ハイジの会」が、天文台で上演会。あいにくの曇り空で星はあまり見れなかったのですが、訪れた家族は大喜びでした。写真は歓談会の模様。



天文台周辺のあじさい畑。カラーでお見せできないのが残念。（中尾 T 撮影）



この猫は天文台とは関係ありません

KCAO メイリングリストへの甘美なるお誘い

急ぎの連絡や会員相互の親睦のためちょっとは(?)活用されている KCAO メイリングリストもメンバーがだんだん増えてきました。これからいっそう充実して行く予定です。県外にいて天文台になかなか足を運べないという方も大歓迎です。

メールアドレスをお持ちの会員で入りたい方がいらっしゃいましたら、中島 (kcaohige@infobears.ne.jp) 宛てまでご連絡ください。

ものの見事に七夕様は、雲ってしまいました。でもご安心下さい。今月は、旧暦の七夕様があります。これはもう晴で決まったようなものです。ささ、もう一度願い事を書いて宇宙のお祭りをしようじゃありませんか。そして夏のイベントといえば、流れ星。今年のペルセウス流星群は何個見られるのでしょうか。良い写真が撮れましたら、天文台へ持ってきて下さいね。さあ、今度こそ、ねがいごとを七夕様をお願いしてみましょかね。

☆H13年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

☆ 8月の天文現象 & 行事 ☆

- 1日(水) やぎ座α流星群が極大
- 4日(土) 満月(14:56)
- 5日(日) 変光星おおぐま座Sが極大(周期226日 7.1等~12.7等)
水星が外合(太陽の北01°46.7' -2.0等 視直径5.0")
- 6日(月) 金星と木星が最接近 みずがめ座ι流星群の南群が極大のころ
- 7日(火) 立秋(りっしゅう…暑気はまだ強いが、涼風吹き始め、秋の気配立つので立秋)
- 11日(土) トークアバウト(20:00~)
- 12日(日) 変光星へびつかい座Xが極大(周期329日 5.9等~9.2等)
下弦(16:53)
- 13日(月) ペルセウス流星群が極大
- 16日(木) 木星食(03:03) 天王星が衝(5.7等 視直径3.7")
- 19日(日) 新月(11:55)
- 20日(月) はくちょう流星群が極大 みずがめ座ι流星群の北群が極大のころ
- 23日(木) 処暑(しょしょ … 旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く)
- 25日(土) 旧暦の七夕 変光星ミラが極大(周期332日 2.3等~10.1等)
- 26日(日) 上弦(04:55)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2001年8月号 通巻317号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01980-0-24463
 熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作
 ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>